



NAKA ivf medium®

胚・精子凍結保存 関連製品

# Sperm Freezing Medium

## 精子凍結メEDIUM



- 10mg/mlヒト血清アルブミン、ゲンタマイシンを含むヘルス添加HTFメEDIUMです。
- 凍結保護剤としてグリセリンを使用しています。
- 精子を手軽に凍結保存することが可能で、融解後の精子は高い運動率、生存率を示します。



| カタログ番号 | 品名         | 用途      | 内容     | 使用期限／保存条件       |
|--------|------------|---------|--------|-----------------|
| SF001  | 精子凍結メEDIUM | 精子の凍結保存 | 1ml×6本 | 製造後1年／要冷蔵(2~8℃) |

# Sperm Freezing Medium

## 精子凍結メディウム

### 精子凍結保存のステップ

- 1 室温にて30分間液化された原精液、または事前に洗浄処理をした精子を凍結します。
- 2 凍結する精液量を測ります。  
●本品(SF001)は原精液または洗浄精子と1対1の割合で混合します。
- 3 精液をセラムチューブ(MS-4503)に0.5mlずつ分注し、トランスファーピペット(Falcon7575)等を用いて、本品を一滴ずつ、よく混和しながら加え、約30秒間で0.5ml加えます。3分間、静置します。
- 4 精液と本品を混和したセラムチューブを液体窒素保存容器(例:SC33/26)の口の形に合わせて折り曲げたアンブルケーン(C-2)に装着します。
- 5 液体窒素保存容器の中蓋を取り除き、4で用意したアンブルケーンを図1のように上部に引っかけます。この時、セラムチューブの位置が液体窒素表面から約10~20cm上にくるようにします。
- 6 液体窒素保存容器の上蓋を締め、液体窒素の蒸気中に5~20分間保持し簡易凍結します。
- 7 セラムチューブを直ちに保管用アンブルケーン(C-2)に装着し液体窒素保存容器内の液体窒素に投入、保管します。

### 精子融解法のステップ

- 1 液体窒素からセラムチューブを取り出し、ただちに30~35℃の微温湯につけ、振りながら融解します。
- 2 融解した精子をセラムチューブから、トランスファーピペット(Falcon7575)で全量を吸い上げてスピッツ管(Falcon2099)に移します。
- 3 精子洗浄液(SW012)を約10ml一滴ずつ加え、30秒間よく混和します。
- 4 300×gで5分間、遠心し洗浄します。  
●300×gは遠心分離機の機種により回転数が異なります。取り扱い説明書でお確かめください。
- 5 洗浄後、密度遠心勾配法またはスイムアップ法により運動精子を回収します。

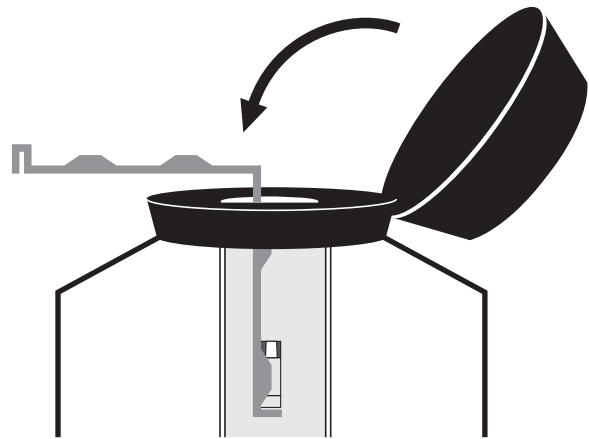


図1●簡易液体窒素蒸気法

※本製品は薬事法の定めるところの医療機器、体外診断薬ではありません。ヒトまたは動物の治療に用いるものではありません。※記載の仕様等は、予告なく変更される場合があります。写真と実際の製品とは若干異なる場合があります。

販売代理店

販売元



株式会社ナカメディカル

〒190-0012 東京都立川市曙町1-18-2 一清ビル別館  
Tel.(042)529-9313 Fax.(042)529-9517

<http://www.nakamedical.co.jp>

製造元●株式会社細胞科学研究所